

三常任委員会合同視察研修報告

去る7月9日、総務企画・文教福祉・経済建設常任委員会合同で実施した那珂川・荒川等の上流流域でダムを管理する事務所及び現場の視察研修について三委員会を代表して報告します。

この度の視察研修の目的は、本市が台風・大雨洪水等により城東・滝田・下境地区等を始め多くの河川周辺地域の家屋や田畑が度々甚大な被害にあっていることから、本市の那珂川や荒川の上流域に関わるダムの管理事務所に出向き、梅雨・雷雨等の集中豪雨、また台風による豪雨等によりダムから放流するときの災害防止策についておよび下流域市町への情報手段やその連携の現状についての調査と研修でありました。

研修先は荒川水系域の西荒川ダム・東荒川ダム・寺山ダムと那珂川水系の塩原ダムを管理している矢板土木事務所ダム管理部と那珂川水系の蛇尾川ダムを管理する東京電力那須野制御所土木保守グループ、また那珂川水系域にある深山ダムと板室ダムを管理する那須広域ダム管理支所であり、研修終了後に深山ダムを視察して参りました。

研修の概要は、各ダムの管理事務所において担当者からダムの果たす役割と管理状況などについての説明を聞くとともに、災害防止のためダムの放流についてはどのような配慮がなされているか、また本市に及ぼす災害等について、参加委員からダム管理者に意見を述べたり質疑を交わすなど意義ある内容の研修でした。

併せて、各ダムの管理担当者には、ダムの放流時には最新の天気予報を駆使して放流の調整を図られたい。下流域にある本市の水害を未然に防ぐために、更に連携を密にしていいただきたいとの旨の要望をしたことを記して報告と致します。

行財政改革特別委員会 委員長 久保居光一郎



矢板土木事務所ダム管理部での研修